

八戸市 埋蔵文化財センター ●青森県八戸市

ヒートポンプシステムが、文化財の展示、収蔵の最適な環境維持に貢献

【贈呈理由】 高効率ヒートポンプ空調の導入により、省エネルギーと最適な収蔵文化財保存環境を実現



是川縄文館

2011年7月にオープンした八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館は、八戸の優れた縄文文化を全国に発信するとともに、市内の埋蔵文化財を調査・研究するための機能を有する施設として建設され、縄文人の芸術性にふれる「縄文の美」や国宝「合掌土偶」を展示する「国宝展示室」、縄文時代を学ぶ「縄文の謎」などで構成されている。

同館では文化財の展示収蔵に適した温度・湿度を最適な状態で維持できる空調シ

ステムを導入することとし、その熱源としてエコ・アイス(個別分散)が導入された。システムの特徴は、エコ・アイスをベースに大空間へのサーキュレータ外気調和機、加湿機能付き

全熱交換型換気扇を設置したことである。空調ゾーニングを入館者、職員、収蔵の3系統とし、収蔵エリアは床置きダクトパッケージならびに変温恒湿複数台空調機によるローテーション運転制御とした。

照明はHf器具(高周波点灯タイプ)を採用し、トイレと更衣室は人感センサーによる在・不在制御、事務室は昼光センサーによる外光利用制御とし、安全を確保した省エネルギーが図られた。

このように同館は、オール電化施設の



エコ・アイス

特徴点である省エネルギー、省コスト、環境へのやさしさ、維持管理の容易性の各コンセプトが満たされた施設として運営されているとともに、来館者に親しまれる文化財展示収蔵施設として、最適な室内空調環境の維持が実現されている。

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

所在地:青森県八戸市大字是川字横山1
 建築設計:㈱岡設計
 建築施工:寺下・大館・古川特定建設工事共同企業体
 蓄熱設備設計:㈱岡設計、苓北設備設計㈱
 蓄熱設備施工:北奥・テクノ・東復特定建設工事共同企業体
 延床面積:4,593㎡
 竣工:2010年(新設)

●蓄熱設備概要

エコ・アイス(個別分散) 20馬力相当×8台(三菱電機)
 蓄熱槽:20.8㎡